

01

戦略

産業・経済

地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり

基本
計画

- ① 農業の振興
- ② 林業の振興
- ③ 時代に即した雇用対策の推進
- ④ 起業創業支援・企業誘致の推進
- ⑤ 中小企業・小規模事業者の持続的発展
- ⑥ 観光の振興
- ⑦ 地域資源の承継と活用

1

農業の振興



施策の方向

意欲ある農家に対して、県、JA、農業委員会など関係機関と一体となり、農地の集積・集約化を図ります。併せて技術・経営指導、情報提供を行います。また、農作業の効率化と省力化を図るため、農業機械・施設へのスマート農業目指します。

農地や、農道、水路等の農業用施設については、地域と一体となった農地の保全・維持管理・環境保全を行い、農業用施設の更新または長寿命化を図ります。

また、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画の策定を推進します。

担い手については、育成・確保に努めるとともに、農業への企業参入を推進します。

さらに、農林水産業者や商工業者等のネットワーク形成や販路拡大等の取組を支援するとともに、農業の6次産業化、農商工連携および農産物の産地形成とブランド化を推進します。

農家民泊や体験農業などのグリーンツーリズムを通じた都市住民や外国人観光客との交流等について、人吉球磨地域の関係者と連携して進めます。

成果指標（KPI）

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
認定農業者数	65	△	70
集落営農組織（任意組織および法人） 総数	任意組織 2 法人 1	△	任意組織 4 法人 2
農業への企業参入総数	4	△	6

主要な事務事業

- (1) 地域計画策定事業
- (2) 日本型直接支払制度事業
- (3) 経営所得安定対策事業
- (4) 人吉市繁殖肉用牛導入等資金貸付基金事業
- (5) 農業基盤整備促進事業

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(1)農業の振興		

事務事業名	地域計画策定事業	担当課	農業振興課
事務事業概要	集落・地域で話し合いを重ね、「担い手や農地利用」などの課題を解決するため、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化するための地域計画(地域農業の在り方と目標地図)の策定を行い、農地中間管理機構(農地バンク)を活用した担い手への農地の集積・集約化、農地利用の効率化および高度化、遊休農地の解消、農業への新規参入を推進する事業		
主な取組内容 Plan	新規	地域計画の更新	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	475	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	1	千円	10	千円	
事業費	476	千円	10	千円	

評価

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	地域計画は、地域での話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する計画と、誰がどの農地を利用していくのかを一筆ごとに定めた目標地図との2本立てとなっている。 令和5年度と令和6年度に地域計画策定に向けたアンケート調査及び取りまとめ、目標地図の素案作成を農業委員会事務局が中心となって行った後、令和6年度に地域計画(案)の作成及び市内5箇所(18地区)での話し合いを農業振興課が中心となって行い、令和7年2月末に地域計画(目標地図を含む)を策定した。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	令和6年度に市内18地区の地域計画(目標地図を含む)を策定したが、地域の実情に合わせて地域計画の更新を行う必要がある。		
	令和7年度から地域計画の実現に向けて毎年各地区で話し合いを行い、地域計画の更新を行う。令和7年度の話し合いについては、令和8年2月に5地区で実施予定。	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 現状維持

改善

方向性

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	10	千円	10	千円	10	千円	
事業費	10	千円	10	千円	10	千円	

総合戦略	未来を担う人材の確保・育成
市長マニフェスト	中山間地農業の振興と農村集落環境の維持・保全に努めます。

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(1)農業の振興		

事務事業名	日本型直接支払制度事業	担当課	農業振興課
事務事業概要	「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、農業の有する多面的機能の維持・発揮のための地域の共同活動や営農活動に対し、国・県・市が支援を行う事業		
主な取組内容 Plan	既存	環境保全型農業直接支払事業	

		事務事業実績	
事業財源 Do	費目	令和6年度	令和7年度
		決算額	予算額
	国庫補助金	168千円	211千円
	県補助金	84千円	105千円
	起債	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円
	一般財源	84千円	106千円
	事業費	336千円	422千円

		事務事業評価	
成果・課題 Check	（取組成果）		事業の方向性
	令和6年度としては、人吉市環境保全型農業推進協議会で278a(カバークロープ、草生栽培、有機農業及び有機農業(炭素貯留効果の高い有機農業))の取組、山江村環境保全型農業推進協議会では、75a(カバークロープ)の実績となった。 令和7年度としては、取組面積の増減、単価の増減等があり、事業費の増となった。		
改善内容 Action	（今後の課題）		資源配分
	取組者の高齢化・提出書類が多く大変などの理由から年々取組者が減少している。 国としては、さらに今後(R9年度の計画(案))「みどり認定」の取得を取組の要件として追加する予定のため、現取組者への説明が必須。これを機に諦める方もいる可能性がある。		現状維持
事業の取組内容について、取組者自身も理解して取組むよう説明をしっかり行う。 令和8年度としては、取組者が2名止められることに伴って、令和8年度の予算も削減される。			財源 削減 人員 削減

		実施計画	
事業財源	費目	令和8年度	令和9年度
		予算額	予算額
	国庫補助金	194千円	194千円
	県補助金	97千円	97千円
	起債	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円
	一般財源	97千円	97千円
	事業費	388千円	388千円

総合戦略	農林水産業の成長産業化
市長マニフェスト	有機農業米(環境保全型農業)の都市圏との連携協定による販路拡大を目指します。

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(1)農業の振興		

事務事業名	日本型直接支払制度事業	担当課	農業振興課
事務事業概要	「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、農業の有する多面的機能の維持・発揮のための地域の共同活動や営農活動に対し、国・県・市が支援を行う事業		
主な取組内容 Plan	既存	中山間地域等直接支払事業	

		令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
事業財源 Do	費目				
	国庫補助金	4,825	千円	4,606	千円
	県補助金	2,412	千円	2,303	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	2,413	千円	2,305	千円
事業費	9,650	千円	9,214	千円	

		評価	
事務事業評価			
(取組成果)			
成果・課題 Check	第5期対策(令和2年度～令和6年度)に5集落(大畑麓町、下田代町、上戸越町開墾、木地屋町駒返、永野町)が取り組まれ、協定内農地においては共同作業等による農業生産活動や、農地並びに農道・水路の維持・管理など多面的機能の確保ができた。 また、第6期対策(令和7年度～令和11年度)の取組に伴う話し合いを令和6年9月10日に上戸越町開墾、11日に大畑麓町、13日と20日に下田代町、14日に木地屋町駒返、17日に永野町で実施し、全ての集落で第6期対策に取り組みを確認することができた。		
	(今後の課題)		
改善内容 Action	第6期対策の取組は令和7年度～令和11年度までの5か年となっているので、各集落に取組農地を再度確認し、取組農地を確定させる必要がある。		
	第6期対策の初年度(令和7年度)については、令和7年8月31日までに集落から市へ集落協定を提出していただく必要がある。 また、協定内農地の管理状況について、現地確認を令和7年10月までに実施する。	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 現状維持

		令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
事業財源	費目						
	国庫補助金	4,606	千円	4,606	千円	4,606	千円
	県補助金	2,303	千円	2,303	千円	2,303	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	2,305	千円	2,305	千円	2,305	千円
事業費	9,214	千円	9,214	千円	9,214	千円	

総合戦略	地域の魅力のブランド化の推進 未来を担う人材の確保・育成
市長マニフェスト	中山間地農業の振興と農村集落環境の維持・保全に努めます。

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(1)農業の振興		

事務事業名	経営所得安定対策事業	担当課	農業振興課
事務事業概要	食料自給率・自給力向上を図るため、飼料用米、麦、大豆等の戦略作物の作付を推進し、需要に応じた生産促進と水田農業全体としての所得向上等により、農業経営の安定を図る事業		
主な取組内容 Plan	既存	人吉市農業再生協議会	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	3,096	千円	2,951	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	1	千円	1	千円	
事業費	3,097	千円	2,952	千円	

評価

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	主食用米から需要の高い作物に作付け転換が定着した農家が増え、令和6年度は国、県、市が推進する作付けを行い155人が交付金を受け取った。さらに、畑作物の需要に応じた生産を促進するための畑地化促進事業では、6人が水田の畑地化を行い、支援金を受けている。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	農家の高齢化や後継者不足が進んでおり、農家戸数の減少が見られるとともに、不作付地の拡大が進んでいる。こうした中で、需要のある作物の作付面積の維持が課題となっている。		
	事業の方向性	資源配分	
	現状維持	財源	現状維持
		人員	現状維持

改善

方向性

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	3,951	千円	3,951	千円	3,951	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	1	千円	1	千円	1	千円	
事業費	3,952	千円	3,952	千円	3,952	千円	

総合戦略	地域の魅力のブランド化の推進 未来を担う人材の確保・育成
市長マニフェスト	JAと連携し、人吉オリジナルの商品開発等による農産物ブランド化を推進します。

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(1)農業の振興		

事務事業名	人吉市繁殖肉用牛導入等資金貸付基金事業	担当課	農業振興課
事務事業概要	繁殖肉用牛の改良増殖および維持を行う畜産経営者等に対し、繁殖肉用牛導入等資金の貸付を行うことにより、本市畜産業の振興および畜産経営の安定を図る事業		
主な取組内容	既存	繁殖肉用牛導入等資金貸付	
	Plan		

事務事業実績					
事業財源	費目	令和6年度		令和7年度	
		決算額		予算額	
Do	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	0	千円	0	千円
	事業費	0	千円	0	千円

評価

事務事業評価			
(取組成果)			
成果・課題	繁殖肉用牛の改良増殖及び維持を行うため、導入資金の貸付を行うことにより、畜産経営の安定を図った。		
Check	(今後の課題)		
	子牛価格の高騰下落が激しい畜産農家の経営において経営が安定するということは非常に困難なことである。今後も高齢化が進んで後継者のいない畜産農家の廃業は避けられないと思われる。また、意欲をもって導入資金利用により母牛の購入及び保留を行った場合、身体的な理由により廃業をしなければならなくなった時の返済に苦しむ方がおられるため、今後においては貸付以外の部分での支援が必要と思われる。		
改善内容	受精卵等の活用により、徐々に貸付件数を削減していく。		事業の方向性
			資源配分
Action			縮小
			財源
			現状維持
			人員
			現状維持

改善

方向性

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
		予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	0	千円	0	千円	0	千円
	事業費	0	千円	0	千円	0	千円

総合戦略	該当なし
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(1)農業の振興		

事務事業名	農業基盤整備促進事業	担当課	農林整備課
事務事業概要	畦畔(けいはん)除去等による区画拡大や暗渠排水等の農地の整備、老朽化施設の更新等の農業水利施設等の整備を地域の実情に応じて実施する事業		
主な取組内容 Plan	既存	県営大畑麓地区農業基盤整備事業	
	既存	県営田代地区農業基盤整備事業	

		事務事業実績			
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	1,897	千円	0
県補助金	517	千円	0	千円	
起債	1,000	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	36	千円	0	千円	
事業費	3,450	千円	0	千円	

		事務事業評価	
		(取組成果)	
成果・課題 Check	大畑麓地区約20ha、田代地区約24haにおける農地基盤再整備が地元からの要望として挙がってきたなかで、これまで地区の状況を把握する基礎調査や地元耕作者に対する説明会を実施している。令和6年度においては相続調査等を実施しており、未相続地を把握したうえで対象者に対し相続登記の依頼をしているところであるが、対象地が複数あるため今後事業を実施するうえで未相続地の解消が課題となってくる。また、令和7年度においては、両町内において事業説明会を実施し、相続登記の必要性をお話したうえで、未相続地の解消に向けて取り組んでいただくようお願いをしている。		
	(今後の課題) 未相続地に対し、対象者への周知を図っているところであるが、相続登記が進んでおらず事業の進捗が遅れている状況となっている。地元受益者への説明会を実施するなかで周知を図りながら今後の未相続地解消に向けて進めていく。		
改善内容 Action	現在、熊本県及び土地改良事業団体連合会を協議を重ね、未相続地の抽出に取り組んでいる。今後は、対象者へ通達を行い未相続地の解消に務めていただくこととなる。また、高収益作物については、今後営農検討会を実施し、有識者からの意見を受けながら、地元耕作者の意見を反映しつつ作付け作物の選定を行っていく。	事業の方向性	資源配分
		拡大	財源 拡大 人員 拡大

		実施計画					
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	
事業費	0	千円	8,750	千円	26,250	千円	

総合戦略	農林水産業の成長産業化
市長マニフェスト	該当なし

2

林業の振興



施策の方向

「森林環境譲与税」を活用し、地域の特性や森林の形態に応じた適切な森林整備や里山の再生・整備を進めます。

また、木育や林業教室を通じた森林教育の推進や林業従事者の育成および新たな人材確保を図ります。さらに、ヒノキのブランド化を推進し持続可能な林業・林産業を構築します。

その他、広域的にスマート林業を推進することで労働生産性の向上を目指します。

人吉市鳥獣被害防止計画の着実な実施により、計画的な捕獲や鳥獣被害対策実施隊への若手の入隊促進および防護柵設置等による被害防止を通じて被害予防対策を推進します。

J-クレジットについては、企業へ売却するなど脱炭素社会の実現に向けて貢献していきます。

成果指標（KPI）

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
森林経営管理法に基づく集積計画締結件数	0件	△	50件
素材生産量	538.9 m ³	△	1,000 m ³

主要な事務事業

- (1) 森林環境整備総合事業
- (2) 有害鳥獣被害対策事業
- (3) 市有林整備事業
- (4) 林道等維持補修事業
- (5) 経営外市有林処分事業

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(2)林業の振興		

事務事業名	森林環境整備総合事業	担当課	農林整備課	
事務事業概要	森林環境譲与税を活用した放置林対策、普及啓発活動、研修会による人材育成や人材確保を行い、人吉球磨産材の利活用と普及による循環型林業の確立を目指す事業			
主な取組内容 Plan	既存	人吉市森林経営管理協議会	既存	森のおくりもの事業
	既存	苗木贈呈事業	既存	林業教室事業

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	12,833	千円	16,829	千円	
一般財源	0	千円	0	千円	
事業費	12,833	千円	16,829	千円	

事務事業評価			
(取組成果)			
成果・課題 Check	人吉市内にある105林班のうち、57林班の抽出から意向調査までを実施し、市へ管理委託を希望する対象者のピックアップまではできており、196人(265筆)から委託希望の要望が確認できている状況である。また、市内小学校を対象にした林業教室は、参加校から好評を得ている。		
	(今後の課題)		
	放置林対策において、意向調査をした結果、市へ管理委託を希望する山林所有者の山林に対し、現地調査を実施し、「集積計画」締結が可能かどうかの判別が必要であるが、令和5年度までは現地調査を委託している球磨中央森林組合のマンパワー不足もあり、調査が進んでいない状況にあった。令和6年度から令和7年度にかけて森林組合OB2名を採用することができ、現地調査のスピードアップをはかっていく。		
改善内容 Action	令和6年度から少しずつではあるが進んでおり、今後は集積計画の締結件数を伸ばす段階となっているので、努力していきたい。	事業の方向性 拡大	資源配分 財源 拡大 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	18,350	千円	20,000	千円	22,000	千円	
一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	
事業費	18,350	千円	20,000	千円	22,000	千円	

総合戦略	農林水産業の成長産業化
市長マニフェスト	森林空間や山の恵みを大切にしながら、まちと人を繋ぐ持続可能な森林経営と多様な林業の推進を図ります。

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(2)林業の振興		

事務事業名	有害鳥獣被害対策事業	担当課	農林整備課
事務事業概要	有害鳥獣の捕獲や農林業従事者の自衛による防除対策の啓発・支援を行う事業		
主な取組内容	既存	特定鳥獣適正管理事業	既存
Plan			有害鳥獣被害対策事業

事業財源	費目	令和6年度		令和7年度	
		決算額		予算額	
Do	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	1,965	千円	1,788	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	6,248	千円	8,231	千円
	事業費	8,213	千円	10,019	千円

事務事業評価			
(取組成果)			
成果・課題	令和6年度の捕獲実績は、シカ:捕獲計画数2,000頭に対し1,923頭、サル:捕獲計画数50頭に対し25頭、イノシシ:捕獲計画数600頭に対し549頭、アナグマ:捕獲計画数300頭に対し247頭、カラス:捕獲計画数1,000羽に対し454羽であり、カラスを除けば、計画数を若干下回る結果であった。		
Check	(今後の課題)		
	昨今の調査によれば、街中や畑に出没するシカ、イノシシ、サル等は、山中に生息するものと生態が異なっており、人間の生活圏で生息することから、シカで言えばアーバン(都市部)ディア(シカ)と呼ばれている。山中で捕獲する上では、鉄砲やくくり罠による捕獲ができるが、居住区へ出没する鳥獣に対する具体的な対策が打てていない。特に、サルに関しては20~30頭で活動する群れの目撃情報もあり、これに対する対策も喫緊の課題である。		
改善内容	R6において、捕獲活動における実績報告の効率化を行うため、捕獲アプリを導入し実証実験を開始した。また、サル専用の罠購入及び設置を行い、直接捕獲頭数の増及び設置周辺での活動抑止を目指した。また、R7においては、人吉市鳥獣被害対策実施隊における隊員枠の拡大を図ったため、捕獲及び追払いなど適時適所の対応が期待できる。また、シカ、サルについては、スマート捕獲事業として、デジタル技術を活用し人間の生活圏で生息する鳥獣の実態把握を行った上で、とるべき対策を検討する。さらに、特定エリアを集中的に駆除する対策も講じていく。特にサルについてはGPSを駆使した機器の採用により生態及び生息調査を行い、その成果を活用することで捕獲効果の増大を図る。これらをまとめると、有害鳥獣の捕獲及び追払い効率を上げるだけでなく、生態生息を見える化するすることで、実施隊の活動効率を上げることのみならず、地域住民の有害鳥獣の出現情報を把握することで自らが身を守るなどの自衛が可能な環境を目指していきたい。	事業の方向性	資源配分
Action		拡大	財源
		人員	拡大

事業財源	費目	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
		予算額		予算額		予算額	
事業財源	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	4,144	千円	3,067	千円	3,067	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	9,858	千円	7,295	千円	7,295	千円
	事業費	14,002	千円	10,362	千円	10,362	千円

総合戦略	農林水産業の成長産業化
市長マニフェスト	有害鳥獣対策の強化とジビエ施策を展開します。

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(2)林業の振興		

事務事業名	市有林整備事業	担当課	農林整備課
事務事業概要	新植・下刈・間伐等により、市有林の適正な整備を行う事業		
主な取組内容 Plan	既存	下刈委託料	既存
	既存	除伐委託料	

事業財源 Do	費目	事務事業実績	
		令和6年度 決算額	令和7年度 予算額
		国庫補助金	0 千円
県補助金	1,713 千円	9,095 千円	
起債	0 千円	0 千円	
その他	0 千円	0 千円	
一般財源	807 千円	4,281 千円	
事業費	2,520 千円	13,376 千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果) 令和6年度において、下刈7.21ha、間伐3.00ha、除伐1.16haの施業を実施し、市有林の適正管理に取り組んだ。		
	(今後の課題) 施業箇所については、球磨中央森林組合との協議により決定しているが、市町村森林整備計画や、森林経営計画は策定しているものの、市として市有林管理に関するビジョンを持っていないため、令和6年度では「人吉市森林適正管理活用計画」を策定した。		
改善内容 Action	令和6年度に定めた「人吉市森林適正管理活用計画」を基にし、100年先を見通した森林の整備のあり方を整理し、人吉市の森林全体のあり方を含め、市有林の今後の施業のあり方を整理する。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

事業財源	費目	実施計画					
		令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
県補助金	3,702 千円	9,095 千円	9,095 千円	9,095 千円	9,095 千円		
起債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	1,743 千円	4,281 千円	4,281 千円	4,281 千円	4,281 千円		
事業費	5,445 千円	13,376 千円	13,376 千円	13,376 千円	13,376 千円		

総合戦略	農林水産業の成長産業化
市長マニフェスト	ゼロカーボンシティ(二酸化炭素排出ゼロ表明)の構築による森林資源の有機的活用を図ります。

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(2)林業の振興		

事務事業名	林道等維持補修事業	担当課	農林整備課	
事務事業概要	林道・作業道の維持および補修を行う事業			
主な取組内容 Plan	既存	市有林監視業務委託	既存	林道維持原材料
	既存	作業道開設事業補助金	新規	林道点検診断・保全整備事業委託

事業財源 Do	費目	事務事業実績	
		令和6年度 決算額	令和7年度 予算額
		国庫補助金	0千円
県補助金	0千円	725千円	
起債	0千円	0千円	
その他	0千円	0千円	
一般財源	4,752千円	7,019千円	
事業費	4,752千円	7,744千円	

事務事業評価					
成果・課題 Check	(取組成果)				
	令和6年度は作業道開設事業補助金による作業道開設は無かったが、永野線倒木除去、鹿目町市有林倒木除去、林道阿川線路面補修及び崩土除去、鬼木町辰崩市有林倒木除去など各種の維持管理業務を行った。令和7年度では、市有林監視業務委託の予算を増額及び林道橋定期点検マニュアルに基づく林道点検診断・保全整備事業委託を行い、さらなる林道等維持管理の充実を図る。				
改善内容 Action	(今後の課題)				
	球磨中央森林組合に委託している市有林監視業務委託で、毎月、林道に異常がないか監視業務を行ってもらっているが、雨が集中的に降った時などについては、職員も巡回を行っている。しかしながら、特に雨が集中的に降る梅雨時期などは、巡回におけるマンパワー不足が生じる。				
改善内容 Action	球磨中央森林組合と情報共有を図り、効率的な巡回業務を心がける。	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

事業財源	費目	実施計画	
		令和8年度 予算額	令和9年度 予算額
		国庫補助金	0千円
県補助金	0千円	0千円	
起債	0千円	0千円	
その他	0千円	0千円	
一般財源	8,761千円	8,044千円	
事業費	8,761千円	8,044千円	

総合戦略	農林水産業の成長産業化
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(2)林業の振興		

事務事業名	経営外市有林処分事業	担当課	農林整備課
事務事業概要	経営から除外する市有林の処分検討を行う事業		
主な取組内容 Plan	既存	経営外市有林処分事業	

		事務事業実績	
事業財源 Do	費目	令和6年度	令和7年度
		決算額	予算額
	国庫補助金	0千円	0千円
	県補助金	0千円	0千円
	起債	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円
	一般財源	0千円	0千円
	事業費	0千円	0千円

評価

		事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)	航空レーザ計測データを参照し、経営から処分可能な林分の調査を行った。			
	(今後の課題)	処分可能な市有林を明らかにし、ターゲットを明確にする必要がある。			
改善内容 Action	令和6年度に策定した「人吉市森林適正管理活用計画」等を参照し、処分可能な市有林を明確にする。また、令和7年度において、球磨村に所有している人吉市有林を処分する検討を行う。	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

改善

方向性

		実施計画	
事業財源	費目	令和8年度	令和9年度
		予算額	予算額
	国庫補助金	0千円	0千円
	県補助金	0千円	0千円
	起債	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円
	一般財源	0千円	0千円
	事業費	0千円	0千円

総合戦略	該当なし
市長マニフェスト	該当なし

3

時代に即した雇用対策の推進



施策の方向

雇用対策は、人吉しごとサポートセンターや人吉商工会議所での経営相談を通じたきめ細かな支援や、ハローワーク球磨や、人吉球磨雇用対策協議会との連携を図りながら、啓発セミナー等を開催するなど、人材獲得支援やミスマッチ解消施策を実施します。

地元高校生や、UIJターンの若者を対象とした地元企業の合同企業説明会を関係者と連携し開催します。さらに、Zターン人材をターゲットとした施策も展開します。

障がい者就労支援については、地場企業へ啓発や、支援現場と企業間の情報共有等を引き続き行います。ニート等未就労者の就労支援については、地域若者サポートステーションやジョブカフェ球磨ランチ等相談所の周知や、各種相談会の開催、専門家による伴走サポートの実施等を通じた就労支援を行います。

外国人労働者については、外国人の困りごと相談対応の充実や、地域住民との交流を図るなど、市の関係部署や国・県関係機関と共に支援の充実を図ります。

成果指標 (KPI)

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
人吉球磨管内学卒者管内就職率 ^(※①)	7.5%	△	15%

(※①) 人吉・球磨管内の高等学校等卒業生で管内に就職した割合

主要な事務事業

- (1)時代に即した雇用対策事業
- (2)未就労者や障がい者の就職支援事業

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(3)時代に即した雇用対策の推進		

事務事業名	時代に即した雇用対策事業	担当課	商工観光課
事務事業概要	人吉しごとサポートセンターと人吉商工会議所の相談業務を通じた中小企業・小規模事業者への人材不足対策を支援し、管内企業の魅力を伝える企業説明会の開催など、管内学卒者の地元就労を促進する事業 外国人技能実習生との交流促進事業		
主な取組内容 Plan	既存	人吉球磨雇用対策協議会	既存
	既存	新規就職者激励会(講演会)	

事業財源 Do	事務事業実績				
	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	150	千円	150	千円	
事業費	150	千円	150	千円	

評価

事務事業評価			
(取組成果)			
成果・課題 Check	令和7年3月に人吉球磨雇用対策協議会、人吉球磨地域産業振興協議会、球磨地域産業振興連絡会議、球磨工業高校の共催で合同企業説明会を開催した。参加者は465名で昨年度より232人増加。地元企業を知ってもらう機会として、また地元を離れた若者がUターンを考える際に、地元企業を思い出してもらえるようなきっかけになることを期待する。		
	(今後の課題)		
改善内容 Action	共催する各機関と次期開催に向けて開催時期や内容について協議していく。		事業の方向性
			現状維持
		資源配分	財源
			現状維持
			人員
			現状維持

改善

方向性

事業財源	実施計画						
	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	150	千円	150	千円	150	千円	
事業費	150	千円	150	千円	150	千円	

総合戦略	未来を担う人材の確保・育成
市長マニフェスト	官民学一体となった創業支援、経営支援等の充実強化を図ります。

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(3)時代に即した雇用対策の推進		

事務事業名	未就労者や障がい者の就職支援事業	担当課	福祉課
事務事業概要	地域若者サポートステーションやジョブカフェ球磨ランチとの連携により未就労者の就職を支援する事業 障がい者の就労支援について、地場企業へ障がい者の雇用促進に係る啓発を行うとともに、引き続き福祉課を通じて、「障がい者就業・生活支援センター(みなよし)」をはじめとした各種支援施設等と連携しながら就労支援を推進する事業		
主な取組内容	既存	若者サポートステーションやつしろ「おしごと相談会」	既存
			ジョブカフェ・球磨ランチ「無料就職相談窓口」

事業財源	費目	令和6年度		令和7年度	
		決算額		予算額	
Do	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	0	千円	0	千円
	事業費	0	千円	0	千円

事務事業評価										
(取組成果)										
成果・課題	<p>求職者に向け毎月市内で開催される若者サポートステーションやつしろの「おしごと出張相談会」、ジョブカフェ・球磨ランチが開設する「ワンストップ就労相談窓口」及び「出張相談会」については、毎月広報ひとよしにて周知を図り、令和6年度は、若者サポートステーションやつしろ224件(本市在住者のみの来所、電話、メール、出張相談の総計)、ジョブカフェ・球磨ランチ369件(来所、電話、出張相談の総計)の相談があった。</p> <p>令和7年度は、障がい者就業・生活支援センター(みなよし)や委託相談支援事業所・郡内市町村と協議し、就労継続支援B型事業所意見交換会(R7.9.17)を実施し、今後の連携の場の設置協議や作業発注希望の農林業事業所の紹介・マッチングを行った。</p> <p>また同様に、就労継続支援A型事業所に関してもR8.1.28に意見交換会を実施し、今後の連携の場の設置協議を行う予定である。</p>									
	(今後の課題)									
Check	<p>どのような支援を行う施設であるか企業側の理解度が低く、事前の訪問を受け入れてくれない場合などがある。求職側と求人側のマッチングの機会の創出及び就職後の定着率の向上のため、求職者だけでなく企業側にも周知を図る必要がある。</p> <p>障がい者の持続的就労を支援するため、就労継続支援A型・B型事業所や公共職業安定所、支援学校、行政等との定期的な連携・情報交換の確保</p>									
改善内容	<p>広報ひとよしへの掲載など引き続き周知するほか、人吉球磨雇用対策協議会等の団体に対し取組内容を知ってもらう機会を設ける。</p> <p>来年度以降も継続して、就労継続支援A型・B型事業所や公共職業安定所、支援学校等と連携・情報交換の場を検討していく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の方向性</th> <th colspan="2">資源配分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現状維持</td> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </tbody> </table>	事業の方向性	資源配分		現状維持	財源	現状維持	人員	現状維持
事業の方向性	資源配分									
現状維持	財源	現状維持								
	人員	現状維持								

事業財源	費目	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
		予算額		予算額		予算額	
Do	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	0	千円	0	千円	0	千円
	事業費	0	千円	0	千円	0	千円

総合戦略	働きやすい魅力的な就業環境と多様な働き方の実現
市長マニフェスト	該当なし

4

起業創業支援・企業誘致の推進



施策の方向

人吉しごとサポートセンターでは、起業創業を志す若者をはじめとした果敢に挑戦する人材をサポートし、ビジネスを創出する環境を整え、地域の特色・強みを生かした「しごと」の創出を促進します。

また、人吉市まち・ひと・しごと交流館「くまりば」の機能を活用し、地域企業や ICT 関連企業、スタートアップ企業(IT企業の集中地帯、大学、専門学校等)が集い、産学官が一体となって協働および連携できる拠点として、地域課題解決とさらなる価値の創造を推進し、地元住民や企業との交流の中から新たな仕事を創出できるよう取り組みます。

「ひとよしくま熱中小学校」を実施し、関係人口の創出および災害を契機とした交流人口の拡大を図りながら、地域課題解決のための「ひと」の力の育成を図ります。

さらに、進出企業の需要に応じた適切な土地の情報を提供するため、進出に適した土地の調査、工場跡地などを再活用の検討を進めます。

成果指標 (KPI)

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
IT企業等の誘致実績累計数	19件	△	40件
起業創業実績累計数	34件	◎	30件

主要な事務事業

- (1) 起業創業・中小企業支援事業(人吉しごとサポートセンター)
- (2) 創業支援セミナー事業
- (3) 企業誘致推進事業

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(4)起業創業支援・企業誘致の推進		

事務事業名	起業創業・中小企業支援事業(人吉しごとサポートセンター)	担当課	商工観光課
事務事業概要	ビジネス専門知識を有する人材を配置した企業創業・中小企業支援事業		
主な取組内容 Plan	既存	しごとサポートセンター(HitBiz)	既存
	既存	ビジネス全般に係る相談業務	

事業財源 Do	費目	事務事業実績			
		令和6年度		令和7年度	
		決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	13,675	千円	14,802	千円
	事業費	13,675	千円	14,802	千円

事務事業評価			
(取組成果)			
成果・課題 Check	令和6年度の相談件数は630件で、物価高騰などの影響で事業者にとって厳しい経営状況が続く中、新商品開発、販促支援などの様々な相談を受け、売上げアップや販路拡大に寄与した。		
	(今後の課題)		
改善内容 Action	誰かの紹介がないと新規で来所する相談者が少ないため、周知の工夫が必要。月によっては相談数が多く十分に対応できない場合もあり、相談内容が真に経営相談なのか精査する必要がある。		
	経営支援システム「くまビジby人吉市」のLINE公式アカウントの画面からHitBizへの相談申込ができるようになっているので、新規相談者が見込めるほか、開催するセミナー情報は同システム等でタイムリーに配信していく。また、真に経営相談が必要な人の相談にしっかり対応できるよう、予約の受け方を見直していく。	事業の方向性	資源配分
	現状維持	財源	現状維持
		人員	現状維持

事業財源	費目	実施計画			
		令和8年度		令和9年度	
		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	15,435	千円	15,435	千円
	事業費	15,435	千円	15,435	千円

総合戦略	新たなビジネスモデルを生み出す創業の活性化と円滑な事業承継
市長マニフェスト	官民学一体となった創業支援、経営支援等の充実強化を図ります。

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(4)起業創業支援・企業誘致の推進		

事務事業名	創業支援セミナー事業	担当課	商工観光課
事務事業概要	創業を予定している方、または創業間もない方向けにセミナーを開催する事業		
主な取組内容 Plan	既存	創業セミナーの開催	既存 セミナー受講後のフォローアップ

事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	0	千円	0	千円	
事業費	0	千円	0	千円	

評価

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	<ul style="list-style-type: none"> 創業支援計画に基づき、商工会議所と連携し、創業を考えている人や創業したけれど事業が起動に乗らず悩んでいる創業者や経営者を対象に、「創業支援(経営改善・売上アップ)セミナー」を実施(1月・2月に各3日間)。 第1期7人、第2期14人の参加があり、うち約1割が令和6年度中に創業。 		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	<ul style="list-style-type: none"> 市や商工会議所の広報誌、ホームページ、SNS等で周知したものの、ネットを使わない層への周知が弱い。また日程が合わず参加を見送るケースもある。 資金の工面、場所や人員の確保、営業許可の取得など、実際に創業するには課題も多く時間を要するため、セミナーを受講してもすぐに創業に至らないことが多い。 		
	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな媒体を活用し、早めに効果的な周知を展開する。 開催時期、期間の検討 商工会議所やヒットBiz、金融機関、専門家等による受講後のフォローを強化し、中長期的な伴走支援を行う。 	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 現状維持

改善

方向性

事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	
事業費	0	千円	0	千円	0	千円	

総合戦略	新たなビジネスモデルを生み出す創業の活性化と円滑な事業承継
市長マニフェスト	官民学一体となった創業支援、経営支援等の充実強化を図ります。

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(4)起業創業支援・企業誘致の推進		

事務事業名	企業誘致推進事業	担当課	商工観光課	
事務事業概要	企業誘致を図るための土地や遊休施設の調査・情報収集・企業訪問事業			
主な取組内容 Plan	既存	人吉・球磨しごと創生連絡協議会	既存	ひとよしくま熟中小学校事業
	既存	人吉市企業立地促進条例 人吉市産業支援サービス業等立地促進補助金		

事業財源 Do	費目	事務事業実績	
		令和6年度 決算額	令和7年度 予算額
	国庫補助金	0 千円	0 千円
	県補助金	2,000 千円	2,000 千円
	起債	0 千円	0 千円
	その他	2,200 千円	2,200 千円
	一般財源	40,538 千円	110,227 千円
	事業費	44,738 千円	114,427 千円

事務事業評価									
(取組成果)									
成果・課題 Check	<p>人吉・球磨しごと創生連絡協議会での活動を通じ、企業訪問や展示会等で情報収集及び情報提供を行い、企業誘致の一助となった。また、人吉市企業立地促進条例に基づき、企業への奨励措置として、令和6年度は雇用奨励金を1社80万円を支出、令和7年度は工場等建設補助金を1社約6,411万3千円を支出し、企業の投資を支援することができた。</p> <p>さらに、ひとよしくま熟中小学校は、令和6年度に第8期と第9期を実施し、第8期と第9期併せて延べ285人が受講した。同事業では、起業家精神やビジネススキルを学び、地域課題解決のための「ひと」の力の育成を図ることができた。</p>								
	(今後の課題)								
	<p>地場企業の課題及び地域課題を明確化し、解決に至る企業の誘致や若年層が興味関心を持つ業種を誘致することで、若年者の地元就職を促していく必要がある。</p>								
改善内容 Action	<p>今後さらなる誘致を推進していくため熊本県などの関係機関や近隣市町村と連携しながら、事業を推進していく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の方向性</th> <th colspan="2">資源配分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現状維持</td> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </tbody> </table>	事業の方向性	資源配分		現状維持	財源	現状維持	人員	現状維持
事業の方向性	資源配分								
現状維持	財源	現状維持							
	人員	現状維持							

事業財源	費目	実施計画		
		令和8年度 予算額	令和9年度 予算額	令和10年度 予算額
	国庫補助金	0 千円	0 千円	0 千円
	県補助金	2,000 千円	0 千円	0 千円
	起債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	2,200 千円	2,200 千円	2,200 千円
	一般財源	74,458 千円	81,680 千円	76,680 千円
	事業費	78,658 千円	83,380 千円	78,380 千円

総合戦略	<p>農林水産業の成長産業化</p> <p>「海外から稼ぐ」地域の実現</p> <p>地域の魅力のブランド化の推進</p> <p>新たなビジネスモデルを生み出す創業の活性化と円滑な事業承継</p> <p>未来を担う人材の確保・育成</p> <p>働きやすい魅力的な就業環境と多様な働き方の実現</p>
市長マニフェスト	<p>企業誘致のための調査実施と地場企業の拡充支援を図ります。</p> <p>「くまりば」の機能を活用し、地域企業やICT関連企業、スタートアップ企業(IT企業の集中地帯、大学、専門学校等)が集い、協働、連携できる拠点として、地域課題解決と更なる価値の創造を推進します。</p>

5

中小企業・小規模事業者の持続的発展



施策の方向

中小企業・小規模事業者支援においては、「持続的発展」を目指した施策を進めるとともに、「地域を牽引する企業の創出」、「地域のブランド化・産地産業の活性化」、「地域のサプライチェーンの維持」等の取組を進めることで、「地域」の持続的発展につなげる施策を展開します。

また、小規模事業者についても課題に即したきめ細かな支援を実施します。

販路拡大支援については、JETRO熊本や、熊本県および県の産業支援機関等と共に消費拡大に向けた取組を行います。また、ふるさと納税や、道の駅人吉の活用を通じた特産品産業の活性化にも取り組みます。

中心市街地の活性化施策については、官民連携を図ることで、「自然とコミュニティが生まれる環境」を創出し、新たな価値を育むことで、中心市街地の「エリア価値向上」と「賑わいの創出」を目指します。

加えて、地域デジタル通貨事業「きじうまコイン」については、域内における経済循環の促進、地域独自の決済基盤としての機能だけでなく加盟店舗の宣伝・広告の役割を担えるような機能の強化、行政サービスとの連携などに取り組み、利用の拡充を図ります。

成果指標（KPI）

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
人吉しごとサポートセンター相談件数	630件/年	○	800件/年
事業承継支援実績累計数	1件/1年	△	4件/4年
きじうまコイン利用者数	15,473人	○	13,300人
きじうまコイン加盟店舗数	111店舗		150店舗

主要な事務事業

- (1) 中小企業・小規模事業者の持続的発展支援事業
- (2) 中心市街地活性化事業
- (3) 人吉市地域デジタル通貨事業(きじうまコイン)

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(5)中小企業・小規模事業者の持続的発展		

事務事業名	中小企業・小規模事業者の持続的発展支援事業	担当課	商工観光課
事務事業概要	人吉商工会議所、人吉しごとサポートセンターおよび国県の支援機関、金融機関等との連携による中小企業・小規模事業者への経営支援および各種補助等事業		
主な取組内容 Plan	既存	小規模事業指導事業費補助金	既存
	既存	講習会等の開催	既存
			商工会議所の経営指導員等による金融、税部、経理、情報化等の経営全般にわたる支援・指導 熊本県中小企業団体中央会、熊本県貿易振興機構への負担金

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	11,490	千円	11,190	千円	
事業費	11,490	千円	11,190	千円	

評価

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	市の補助事業として人吉商工会議所が小規模事業者持続化補助金をはじめとした事業計画策定を支援し、事業再構築、事業効率化、販路開拓等について事業者の経営力強化を図ることができた。また、販売会および展示・商談会など地域外への出店を積極的に支援し、事業者の新たな市場への挑戦を後押しした。熊本県中小企業団体中央会においては、各種補助事業を活用した事業者支援、熊本県貿易振興機構においては、事業者の海外への販路拡大に取り組んだ。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	商工会議所の経営指導員等による経営全般にわたる支援や、創業に関する指導支援は引き続き強化していくが、物価高騰などの事業環境の変化に対応する支援や、DX推進、IT活用、SDGsの取組みなど多様化する経営課題に対する支援も強く求められている。また、事業者のニーズを把握し各支援機関とつなげる仕組みづくりが必要。		
	国の経済対策として予算化されている各種事業を有効に活用し、経営力の強化・販路開拓など、事業所の持続的発展に繋がるよう支援体制を強化するため、商工会議所、HitBiz、熊本県中小企業団体中央会、熊本県貿易振興機構と連携をしながら事業を進める。	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 現状維持

改善

方向性

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	11,490	千円	11,490	千円	11,490	千円	
事業費	11,490	千円	11,490	千円	11,490	千円	

総合戦略	新たなビジネスモデルを生み出す創業の活性化と円滑な事業承継
市長マニフェスト	官民学一体となった創業支援、経営支援等の充実強化を図ります。

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(5)中小企業・小規模事業者の持続的発展		

事務事業名	中心市街地活性化事業	担当課	商工観光課
事務事業概要	豪雨災害に増えた空き家、空き地、空き店舗などの遊休資産を有効活用することにより、中心市街地に新たな価値を育み、エリア価値向上と賑わいの創出を図る事業		
主な取組内容 Plan	既存	商工会議所(人吉TMO)に対する補助	既存
	既存	HITONOWAマーケットの開催	新規
			商店街活性化事業補助金
			ランドバンク

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	420	千円	1,000
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	870	千円	2,000	千円	
事業費	1,290	千円	3,000	千円	

事務事業評価					
成果・課題 Check	(取組成果)				
	人吉市商店街活性化事業補助金のうちイベント事業の活用はあるものの、空き店舗活用事業等は内容と事業者のニーズと合わず、活用する事業者がいない。 HITONOWAマーケットは定期的に開催されている。				
改善内容 Action	(今後の課題)				
	商店街活性化事業補助金については、中心市街地での創業を促すような補助メニューの内容検討が必要。 コンテナマルシェは令和7年度末までに解体し更地に戻すことから、その後の活用については地権者の意向も踏まえ協議する。				
改善内容 Action	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街活性化事業補助金の補助要項の内容見直し。 ・都市構造再編集集中支援事業を活用し、HITONOWAマーケット等に新たなアイデアを取り入れる。 ・デザイン会議のランドバンクTFの取組と連携した遊休資産活用の検討。 	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	1,000	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	1,500	千円	3,900	千円	3,900	千円	
事業費	2,500	千円	3,900	千円	3,900	千円	

総合戦略	地域企業の生産性革命の実現
	地域の魅力のブランド化の推進
	新たなビジネスモデルを生み出す創業の活性化と円滑な事業承継
市長マニフェスト	人が集う、人が交わる、誰もが楽しめる年間を通したイベントを創出します。

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(5)中小企業・小規模事業者の持続的発展		

事務事業名	人吉市地域デジタル通貨事業(きじうまコイン)	担当課	商工観光課	
事務事業概要	本市のスマートシティの実現に係る取組に位置付け、人口減少、ウィズコロナ時代における持続的な地域経済を目指し、運営主体およびシステム開発事業者などと連携して域内循環経済の基盤を構築する事業			
主な取組内容 Plan	既存	きじ馬スタンプ協同組合へ運営費補助	既存	きじうまコインポイントの活用促進
	既存	きじうまコイン利用促進	既存	きじうまコインプレミアムポイントキャンペーン

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	32,190	千円	27,190
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	1,266	千円	890	千円	
事業費	33,456	千円	28,080	千円	

事務事業評価			
(取組成果)			
成果・課題 Check	物価高騰対応重点支援交付金を活用し、年2回(7~8月、11月)、プレミアムポイントキャンペーンを実施した。社会的・経済的効果は以下のとおり(令和7年3月末時点)。 ・アプリダウンロード数(利用中のもの): 15,473件(昨年度比25%増加) ・加盟店舗数: 111店舗(昨年度比5店舗増加) ・域内経済波及効果: 47,213千円		
	(今後の課題)		
改善内容 Action	自走するのに必要な数字を洗い出し、利益を出すために必要な仕組みをきじ馬スタンプ協同組合と改めて協議する。また、保健センターが実装予定のヘルスケア機能など、使い道を拡大し日常利用につなげる。		
	事業の方向性	資源配分	
	拡大	財源	現状維持
		人員	現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	2,900	千円	2,900	千円	2,900	千円	
事業費	2,900	千円	2,900	千円	2,900	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	地域通貨(きじこ)等を活用し、地場産業の振興を図ります。

6

観光の振興



施策の方向

人吉球磨一体となった人吉球磨ブランドの推進による認知度向上、広域連携による滞在型観光の推進に加え、テーマ性・ストーリー性のある観光地の構築を図ることで、国内・国外来訪者の多様化する観光ニーズや旅行形態の変化に対応し、観光客や消費者から選ばれる競争力を持った魅力ある観光地域づくりを進めます。

訪日外国人からの人気も高い、アニメツーリズムや人吉球磨の地域資源を活用した体験型ツーリズムを推進し、一過性に終わることのないインバウンド事業に取り組みます。

また、道の駅人吉(人吉クラフトパーク石野公園)を人吉球磨地域の魅力的な観光・賑わい創出の拠点にすることを目指し、サイクルツーリズムをはじめリバーアクティビティやくま川鉄道等の乗り物を活用した新たな誘客に努めます。

これらの取組とともに、地域住民が郷土に愛情と誇りを持って歴史的・文化的な魅力や特色ある「歴史文化遺産」といった地域資源を再認識し磨き上げ、地域住民との協働による地域力を最大限に発揮する観光地域づくりを目指します。

成果指標 (KPI)

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値 (令和9年末)
年間宿泊客数*	167,183人	○	217,000人
年間日帰り客数	1,063,497人	○	1,283,000人

主要な事務事業

- (1) 観光施設整備事業
- (2) 石野公園施設整備および活性化事業
- (3) 外部団体との連携事業
- (4) イベント企画・運営事業
- (5) 観光情報発信事業
- (6) 観光関連協議会との協働事業

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(6)観光の振興		

事務事業名	観光施設整備事業	担当課	商工観光課
事務事業概要	国内外の観光客の利便性向上のためのインフラ整備(Wi-Fiや多言語、ピクトグラムを用いた表示、情報通信技術を用いた観光案内など)を含めた観光施設の整備を行う事業		
主な取組内容 Plan	新規	観光案内施設の充実	新規
	新規	鹿目の滝の整備	既存
		SL人吉格納庫の整備	
		観光案内所の運営委託	

		事務事業実績	
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額	令和7年度 予算額
		国庫補助金	0千円
	県補助金	0千円	0千円
	起債	0千円	0千円
	その他	544千円	750千円
	一般財源	8,952千円	9,465千円
	事業費	9,496千円	10,215千円

		事務事業評価	
成果・課題 Check	(取組成果)		事業の方向性 拡大
	(今後の課題)		
改善内容 Action	<p>人吉観光案内所は不通となっている人吉駅にあるものの案内所として定着しており、来訪者のニーズに的確に対応し満足度が高い。なお、来訪者の半数以上は夏目友人帳のファンとなっている。また、案内標識が古くなっていた紅取山周辺の看板を整備したことで道順が分かりやすくなった。</p> <p>人吉観光案内所は引き続き人吉駅で運営する必要があるものの、よりよい場所があれば移転も検討する。また、インバウンドの来訪者があり、英語を話せるスタッフがいない場合の対応に苦慮している。観光案内看板については、内容が古いものや必要な箇所がない、多言語対応がされていないなど充実させる必要がある。</p> <p>・観光協会とも連携し、観光案内所及び、観光施設でも多言語で対応できるような情報通信技術を用いた案内システムを構築していく。 ・不足している観光案内看板の増設(ピクトグラム・多言語化含む) ・SL人吉の格納庫の設置。</p>		

		実施計画		
事業財源	費目	令和8年度 予算額	令和9年度 予算額	令和10年度 予算額
		国庫補助金	0千円	0千円
	県補助金	0千円	0千円	0千円
	起債	2,000千円	0千円	0千円
	その他	750千円	0千円	0千円
	一般財源	12,736千円	9,465千円	9,465千円
	事業費	15,486千円	9,465千円	9,465千円

総合戦略	本市への資金の流れの創出・拡大 地域の魅力のブランド化の推進
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(6)観光の振興		

事務事業名	石野公園施設整備及び活性化事業	担当課	商工観光課
事務事業概要	令和元年8月に道の駅人吉として開駅した石野公園の魅力を再発見し誘客を図るための施設整備や既存施設の利活用を推進する事業		
主な取組内容 Plan	既存	人吉市石野公園事業審議会	既存
			人吉市石野公園運営委員会

事業財源 Do	費目	事務事業実績	
		令和6年度	
		決算額	令和7年度 予算額
	国庫補助金	0千円	0千円
	県補助金	0千円	0千円
	起債	0千円	2,500千円
	その他	486千円	620千円
	一般財源	26,002千円	28,448千円
	事業費	26,488千円	31,568千円

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	コロナ禍からの脱却により、来園者数、体験者数、売店売上など回復している状況である。特に売店売上については、道の駅開駅や令和5年9月からのキャッシュレス導入などにより、コロナ禍以降は伸びてきている。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	既存施設の老朽化も年々進んでおり、更新も含めて今後のあり方を方向づけていく必要がある。また、コンセプトとしている現行の「工芸体験」が停滞している状況のため、新たな手法を考え活性化していく必要がある。		
	関係各課及び関係機関と連携して新たな視点から今後の運営及び存続の方法を検討し、観光拠点としての整備を進めていく。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持
			人員 現状維持

事業財源	費目	実施計画	
		令和8年度	
		予算額	令和9年度 予算額
	国庫補助金	0千円	0千円
	県補助金	0千円	0千円
	起債	0千円	0千円
	その他	540千円	700千円
	一般財源	29,410千円	27,915千円
	事業費	29,950千円	28,615千円

総合戦略	「海外から稼ぐ」地域の実現 地域の魅力のブランド化の推進 未来を担う人材の確保・育成 働きやすい魅力的な就業環境と多様な働き方の実現
市長マニフェスト	石野公園の活性化を促進します。 ・建設型仮設住宅を活用した滞在型公園施設の整備を行います。 ・農産物直売所の拡充を行います。儲かる農業を後押しします。 ・ドッグラン等の設置を行います。

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(6)観光の振興		

事務事業名	外部団体との連携事業	担当課	商工観光課
事務事業概要	国・県補助事業等を活用し、他の自治体等との広域的な観光連携に取り組む事業 第三セクターである球磨川くだり(株)の経営安定化を図る事業		
主な取組内容 Plan	既存	人吉市行財政経営検討委員会	新規
	新規	地域おこし協力隊(観光分野)業務委託	球磨川くだり支援事業補助金

		事務事業実績	
事業財源 Do	費目	令和6年度	
		決算額	令和7年度 予算額
	国庫補助金	0千円	0千円
	県補助金	0千円	0千円
	起債	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円
	一般財源	4,730千円	5,040千円
	事業費	4,730千円	5,040千円

		事務事業評価									
		(取組成果)									
成果・課題 Check	<p>球磨川くだりは令和2年7月豪雨災害で被災したが、インフラの再建整備事業により早急に再建できた。また、観光複合施設として整備しており、自然災害による事業継続リスクを抱える川下り事業を支えるものとして、飲食、物販事業の強化もでき、安定した収益の確保を徐々にではあるが出来つつある。</p> <p>球磨川くだり支援事業については、若手の船頭OBを令和6年1月に1名採用することが出来た。また、地域おこし協力隊については、令和6年7月に1名(神奈川県横浜市:20歳)採用することができた。</p>										
	(今後の課題)										
改善内容 Action	<p>令和2年7月豪雨災害以降、度重なる悪天候の影響により運休となっていた川下り事業については、令和6年4月6日から「球磨川くだり清流コース」を再開することができたが、現在、操船技術を持つ船頭が3名しかいない。現在、木造船10隻、大型船2隻を所有しているが、一度の運航で最大3隻しか出せない状況である。上記のとおり若手船頭OBや地域おこし協力隊を採用することができているが、今後、更なる経営健全化を推進していくためには、同社の経営の柱である川下り事業における船頭の確保が一番の課題であると考えます。</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業の方向性</th> <th colspan="2">資源配分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現状維持</td> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </tbody> </table>	事業の方向性	資源配分		現状維持	財源	現状維持	人員	現状維持
事業の方向性	資源配分										
現状維持	財源	現状維持									
	人員	現状維持									
	<ul style="list-style-type: none"> 船頭確保の更なる推進 各種事業(川下り事業、飲食事業、物販事業等)の経営状況分析及び合理化(コスト削減など) キャッシュフロー計算書の作成(肥後銀行との連携) 組織体制の見直し:内部事務(総務・経理等)担当者の育成強化 										

		改善		方向性	
		実施計画			
事業財源	費目	令和8年度		令和9年度	
		予算額	令和10年度 予算額		
	国庫補助金	0千円	0千円	0千円	0千円
	県補助金	0千円	0千円	0千円	0千円
	起債	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	一般財源	5,040千円	3,060千円	2,400千円	
	事業費	5,040千円	3,060千円	2,400千円	

総合戦略	地域の魅力のブランド化の推進 本市への資金の流れの創出・拡大
市長マニフェスト	乗り物観光地域づくりを推進します。(くま川鉄道、球磨川くだり・ラフティング、サイクリング、人力車等)

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(6)観光の振興		

事務事業名	イベント企画・運営事業	担当課	商工観光課	
事務事業概要	各種イベントの企画運営を行う事業			
主な取組内容 Plan	既存	人吉花火大会	既存	人吉温泉まつり
	既存	SL人吉・鉄道フェス	既存	人吉梅まつり

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	500	千円	550
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	14,309	千円	14,767	千円	
事業費	14,809	千円	15,317	千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	コロナ及び水害からようやく通常モードになり、花火大会、温泉まつり、梅まつりを実施することが出来、出演者もイベントが再開された状況を喜ばれ、来場者も賑わいが創出できた。また、SL人吉が里帰りを果たしたことからSL人吉・鉄道フェスを新たに実施し、県内外から多くのお客様が来場するイベントとなった。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	花火大会については、花火の原材料や人件費が高騰しており、協賛金で実施しているが厳しい状況。温泉まつりは、近隣でも様々なイベントが開催されている時期でもあり集客に苦慮している。		
改善内容 Action	SL人吉・鉄道フェスは、実行委員会を組織し、職員だけの運営ではなく実行委員会で実施することとなった。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	9,217	千円	9,217	千円	9,217	千円	
事業費	9,217	千円	9,217	千円	9,217	千円	

総合戦略	本市への資金の流れの創出・拡大
	魅力的な生活圏の形成
	地域間連携による魅力的な地域圏の形成
市長マニフェスト	人が集う、人が交わる、誰もが楽しめる年間を通したイベントを創出します。

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(6)観光の振興		

事務事業名	観光情報発信事業	担当課	商工観光課
事務事業概要	デジタルマーケティングを中心とした効果的な情報発信、パンフレット・ポスターによる広報を行う事業 市民に向けたインナープロモーションの実施により郷土愛や誇りを醸成する事業		
主な取組内容 Plan	新規	人吉市観光PR大使の活用	既存
	既存	観光パンフレット多言語化	花火大会ポスター作成業務委託

		事務事業実績	
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額	令和7年度 予算額
		国庫補助金	0 千円
	県補助金	0 千円	0 千円
	起債	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円
	一般財源	889 千円	5,821 千円
	事業費	889 千円	5,821 千円

		事務事業評価	
成果・課題 Check	(取組成果)		
	観光パンフレットはデジタルと紙媒体のどちらも求められており、それぞれに作成・更新が必要となっている。くるんマップといった旅ナカパンフレットに加え、インバウンド向けにPRするための旅マエの多言語化の総合パンフレットを新たに作成することが出来た。 花火大会ポスターについては、ファンを中心に毎年期待されており、人吉市内を中心に掲示するとともに観光協会において販売されており、夏目友人帳をいかした観光の一助を担っている。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	人吉市観光PR大使制度を創設し、今後どのような活動を行ってもらうかが重要となってくる。情報発信について、紙とデジタルを融合しながら、人吉に行きたいと思ってもらえるよう交通手段を含め伝える工夫が必要。		
	多言語化の旅マエパンフレットを作成したので海外でのプロモーションを強化することができるようになった。	事業の方向性 拡大	資源配分 財源 現状維持 人員 現状維持

		実施計画		
事業財源	費目	令和8年度 予算額	令和9年度 予算額	令和10年度 予算額
		国庫補助金	0 千円	0 千円
	県補助金	0 千円	0 千円	0 千円
	起債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	1,040 千円	1,040 千円	1,040 千円
	事業費	1,040 千円	1,040 千円	1,040 千円

総合戦略	本市への資金の流れの創出・拡大 地域の魅力のブランド化の推進
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(6)観光の振興		

事務事業名	観光関連協会との協働事業	担当課	商工観光課	
事務事業概要	人吉球磨観光地域づくり協議会、熊本県観光連盟、人吉球磨地域サイクルツーリズム推進協議会等との協働による事業、人吉温泉観光協会等との連携、市民との協働による事業			
主な取組内容 Plan	既存	国内誘客の促進	既存	インバウンド誘客の拡大
	既存	市町村の枠を超えたデジタルプロモーション	既存	人吉温泉観光協会補助金

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	28,294	千円	31,840	千円	
事業費	28,294	千円	31,840	千円	

事務事業評価			
(取組成果)			
成果・課題 Check	国内・国外の誘客に向けて宿泊データ分析システムを導入し、属性を少しずつ把握することができた。また、人吉温泉観光協会と密に連携し、誘客に向けてプロモーション等を実施することができた。アニメ夏目友人帳を活用した広域誘客事業については、人吉球磨観光地域づくり協議会と連携し周遊する事業に取り組めた。		
	(今後の課題)		
改善内容 Action	観光客数としては戻っていないと言われているため、属性を把握し観光地として選ばれるようコンテンツの磨き上げ、発掘を実施する必要あり。人吉球磨にとって大きなコンテンツとなっている夏目友人帳を活用した事業を継続して実施することが求められている。		
	宿泊データ分析システムを活用し、どこに向けて的確かつスピーディーにプロモーションを実施するかを把握することが可能となった。	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	49,139	千円	49,139	千円	49,139	千円	
事業費	49,139	千円	49,139	千円	49,139	千円	

総合戦略	「海外から稼ぐ」地域の実現 地域の魅力のブランド化の推進 本市への資金の流れの創出・拡大
市長マニフェスト	該当なし

7

地域資源の承継と活用



施策の方向

地域資源の活用については、調査や保存・整備を計画的に実施し、未来へ継承するための啓発活動や歴史文化遺産に対する市民への講座や展示などを実施し、歴史文化遺産を更に磨き上げ、観光資源として積極的に活用していきます。

また、市民と協働でこれらの歴史文化遺産を継承するための啓発や情報発信に努め、官民連携による観光交流人口の拡大に伴う地域経済の活性化を図ることで、人吉球磨の地域振興を目指します。

日本遺産の構成文化財の一つである球磨焼酎については、蔵ツーリズムをはじめとする「体験型」の観光を推進するとともに、官民連携して海外への販路開拓等に取り組みます。

郷土の偉人たちについては、現在実施している一井正典、犬童球溪顕彰事業を継続して実施していき、交流人口の増加につながる施策を展開します。

成果指標 (KPI)

成果指標	実績値	達成状況	目標値
年間宿泊客数*	167,183人 (令和6年末)	○	217,000人 (令和9年末)
年間日帰り客数	1,063,497人 (令和6年末)	○	1,283,000人 (令和9年末)
クラフトパーク石野公園体験参加者数	4,603人/年 (令和6年度)	△	8,000人/年 (令和9年度)
人吉城歴史館年間来館者数	休館 (令和6年度)	—	16,500人 (令和9年度)

主要な事務事業

- (1) 日本遺産情報発信事業
- (2) 肥薩線利用促進・魅力発信協議会推進事業

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(7)地域資源の継承と活用		

事務事業名	日本遺産情報発信事業	担当課	文化課
事務事業概要	歴史的魅力にあふれた人吉球磨の文化財群を総合的に活用し、国内外に戦略的に情報発信することで、交流人口の拡大により地域活性化を図る事業		
主な取組内容 Plan	既存	人吉球磨日本遺産活用協議会	既存
	既存	人吉球磨日本遺産ホームページの保守管理	日本遺産ロゴマークの管理及び使用許可

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	0	千円	0	千円	
事業費	0	千円	0	千円	

評価

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	人吉球磨10市町村、熊本県、各種民間団体等が委員となっている人吉球磨日本遺産活用協議会では、令和5年度に日本遺産の再度認定継続をめざし、日本遺産を通じた地域活性化計画実績報告書及び新たな地域活性化計画を文化庁へ提出し、令和6年12月24日付けで「認定継続(条件付)」という結果になった。 日本遺産認定地域として継続認定され続けることが本事業を行ううえでの大前提となる。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	<p>今後は、日本遺産を活用した地域活性化を円滑に推進するため、人吉球磨日本遺産活用協議会と下部組織である球磨地域文化財広域連携協議会との整理統合を含めた組織改編の検討が必要である(令和7年7月16日の球磨地域文化財広域連携協議会総会において、当該協議会を解散済、人吉球磨日本遺産活用協議会文化部に統合の予定)。 新組織では継続的に予算確保を行い、情報発信ツールである人吉球磨日本遺産ホームページの保守管理を継続的に実施していく必要がある。</p> <p>また、日本遺産ロゴマークの使用を普及させるため、人吉球磨観光づくり協議会と連携し、関係自治体や各種団体にロゴマークの使用斡旋を行っていく事が重要である。</p>		
	・組織をスリム化することで、動きやすい組織体制の実現 ・人吉球磨観光づくり協議会と協働、連携体制を強化することで、日本遺産の活用面が活性化することが見込まれる。	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 現状維持

改善

方向性

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	760	千円	1,004	千円	1,004	千円	
事業費	760	千円	1,004	千円	1,004	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	日本遺産人吉球磨の魅力向上と既存文化遺産の有機的な連携構築を図ります。

戦略名	戦略1	産業・経済	地域の誇りで新たな価値を創造し、人が輝き躍動する経済づくり
施策項目	(7)地域資源の継承と活用		

事務事業名	肥薩線利用促進・魅力発信協議会推進事業	担当課	交通政策課
事務事業概要	県境を越えた沿線市町村で連携し、肥薩線の利用促進およびその魅力を発信することにより、地域振興および活性化を図る事業		
主な取組内容 Plan	既存	肥薩線利用促進・魅力発信協議会	

		事務事業実績	
事業財源 Do	費目	令和6年度	令和7年度
		決算額	予算額
	国庫補助金	0千円	0千円
	県補助金	0千円	0千円
	起債	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円
	一般財源	30千円	30千円
	事業費	30千円	30千円

		事務事業評価	
成果・課題 Check	(取組成果)		事業の方向性
	肥薩線沿線の清掃活動や大畑駅さくらまつりなど各種イベントを実施。人吉市においては、MOZOCAステーション横駐車場にSL人吉が里帰りしたこと、SL人吉のヘッドマークの展示や輸送に関する写真展を開催し、鉄道の魅力発信に努めた。		
改善内容 Action	(今後の課題)		資源配分
	川線についてはJR肥薩線復興アクションプランに基づき、進捗管理組織を立ち上げ2033年度復旧に向けて各種施策に取り組む必要がある。また、山線についても今後復旧に向けての会議体を新たに組織する必要があるが、既存協議会が複数あるなか更に新規組織が立ち上がることとなり、現在の人員で対応できるかが課題。		現状維持

		実施計画		
事業財源	費目	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		予算額	予算額	予算額
	国庫補助金	0千円	0千円	0千円
	県補助金	0千円	0千円	0千円
	起債	0千円	0千円	0千円
	その他	0千円	0千円	0千円
	一般財源	30千円	30千円	30千円
	事業費	30千円	30千円	30千円

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備 魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	人吉球磨、沿線自治体一体となつたくま川鉄道とJR肥薩線の復活を目指します。